

(別添資料1)

事業所名

児童デイサービス まはる天久

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R6

年

12 月

1 日

法人（事業所）理念

福祉のスタンダードを変革し、児童の可能性を最大限に引き出す

支援方針

「たのしい」「すき」「やってみたい」を大切にしながら、専門的な支援で「できる」を増やす

営業時間

10 時

00 分から

19 時

00 分まで

送迎実施の有無

あり

支 援 内 容

本人支援

健康・生活

更衣や排泄、食事などの動作確認やサポート
手洗いやうがい、衛生面の習慣化
年齢や児童の様子に合わせて自己の特性の理解

運動・感覚

小学校低中学年程度の児童は「基本の36の動き」の様々な動きを、楽しく大きく運動として取り入れられるように、やる気スイッチグループ監修の運動プログラムを実施。
小学校中学年以降の児童は基本的な大きな動きもちろん、アジリティ（俊敏性）等を意識した細やかな運動を取り入れ、運動能力の向上

認知・行動

ABAや認知行動理論を基に行動を分析しサポートを行なっている。「ほめる」ことを大事にし自己肯定感や、やってみよう！と挑戦できる姿勢を大事にしている。
児童自身の自分の捉え方への気づきを促し、気持ちや行動にゆとりができるように支援を実施
学年に応じた学習面のサポートを年齢や児童の興味に応じて実施。

言語
コミュニケーション

日常の会話の中での名称や単語などのインプット、自分の気持ちや出来事をお話するときには表現方法や伝え方などのインプットを行い、児童の語彙や表現の獲得を目指す。
保護者の同意を得て、専門職が言語訓練を個別もしくは小集団での言語訓練の実施。

人間関係
社会性

SSTの中で、表情の読み取りや挨拶などの基本的な社会性からある場面を想定したロールプレイの実施。
ルールのある課題（順番や、ゲーム等）に取り組み、ルール理解やルールを守る意識の向上に努める。

家族支援

保護者の同意を得て、ご家庭での支援方法についてサポートや助言を行なうと
共に、随時の面談を通じて情報の共有を図る。
施設内、オンライン等により座談会やペアレントトレーニングを実施

移行支援

保護者の同意を得て、学校や他事業所その他関係機関と連携を図り、療育以外での日常生活の困りごと等を共有し支援へ反映させている
移行後、必要に応じてフォローを行える体制の確保

地域支援・地域連携

地域での行事（祭りなど）への参加や、企業への見学や体験学習

職員の質の向上

入社時研修の実施
既存社員フォローアップ研修の実施
外部研修へ会社が費用を負担し積極的な参加

主な行事等

自社でのイベント開催（夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど）
事業所単位でのお誕生日会や季節に応じた行事（イースター、こどもの日、七夕、敬老の日、ひな祭り等）制作や散策など